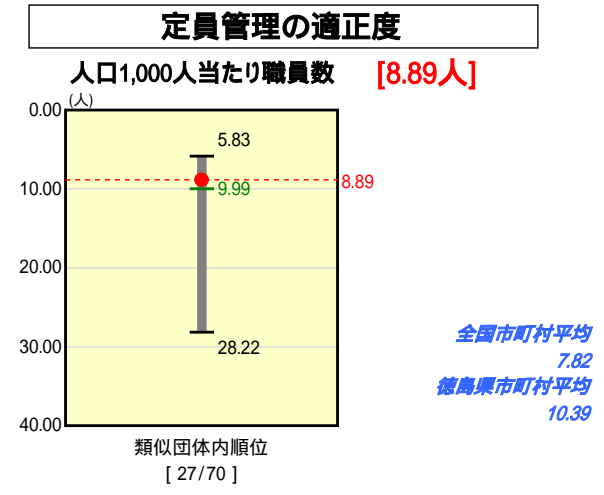
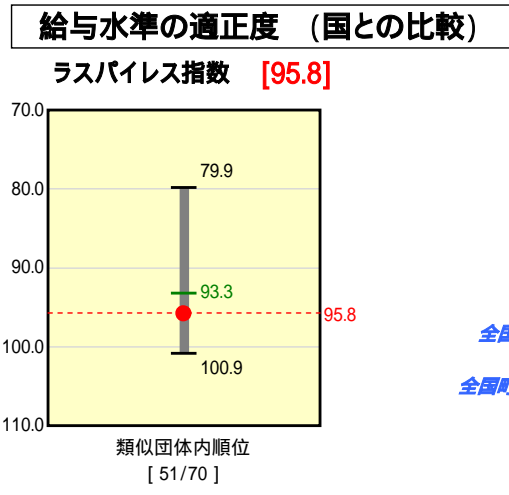
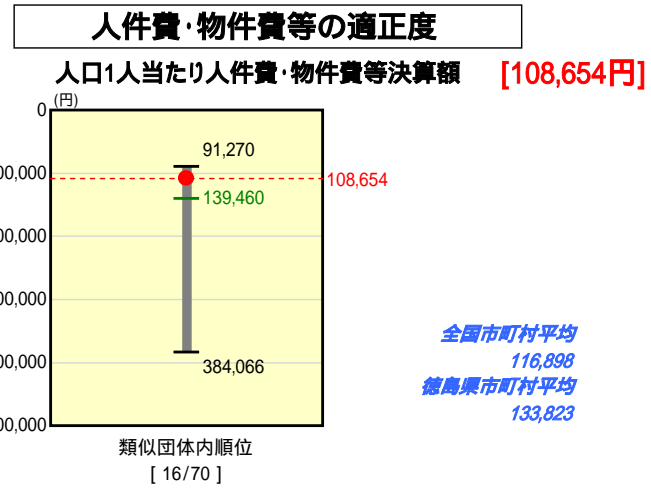
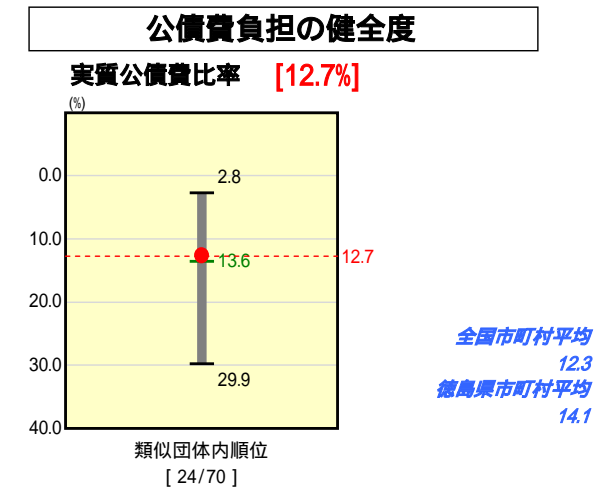
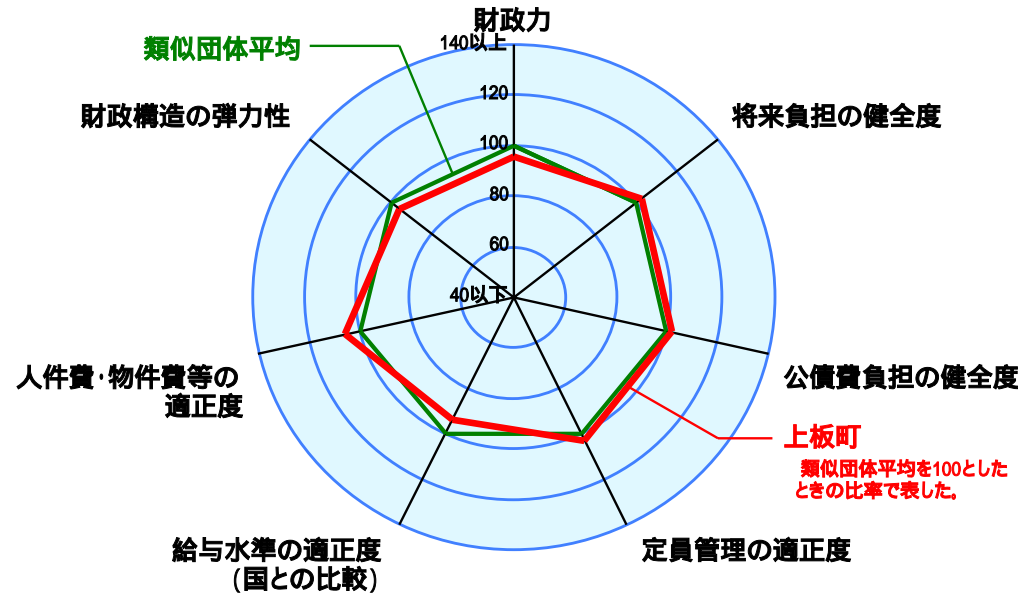
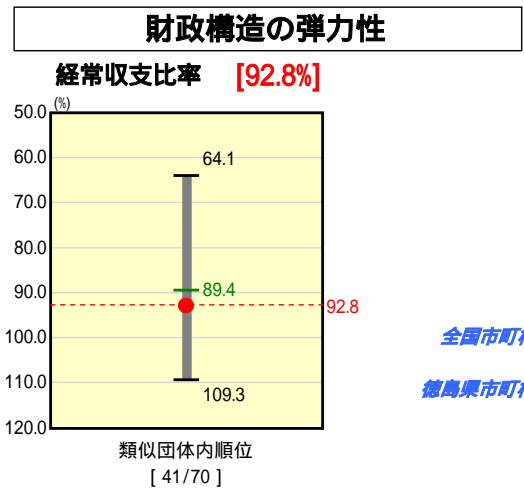
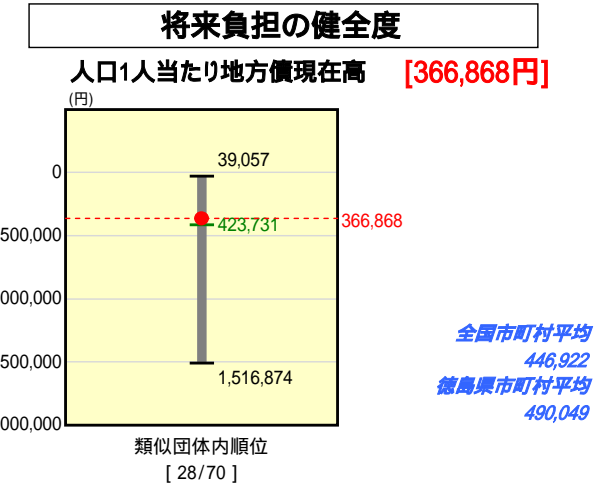
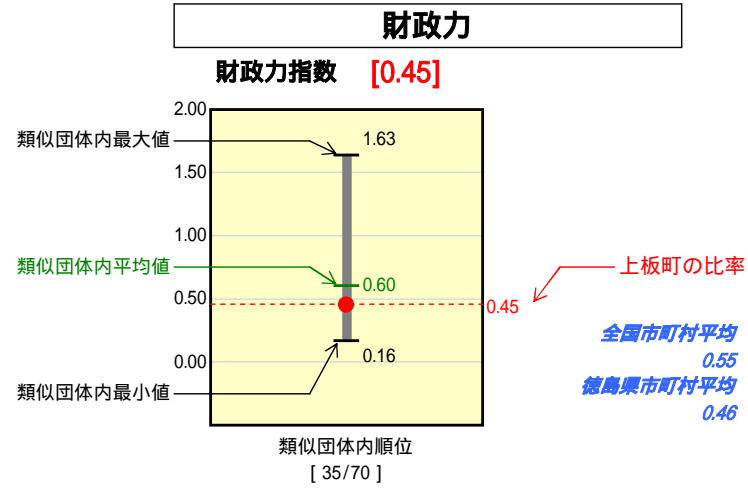


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

徳島県 上板町

人口	13,276	人(H20.3.31現在)
面積	34.51	km ²
歳入総額	4,171,268	千円
歳出総額	3,989,402	千円
実質収支	141,253	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

分析欄

(財政力指数)
本町において、この指数は、近年、上昇傾向(平成4年度から上昇)にあるが、類似団体平均を下回っている。今後においては、退職者不補充等による職員数の削減による人件費の削減を実施するとともに、町税等の徴収強化を図り、歳入確保に努める。

(経常収支比率)
扶助費や一部事務組合への負担金及び特別会計等への繰出金が増加し、類似団体平均を上回って92.8%となっている。今後においては、町税等の徴収強化や職員の新規採用の抑制等を掲げる集中改革プランへの取組を通して義務的経費等の節減に努める。

(人口1人当たり人件費・物件費等決算額)
類似団体平均と比較して、人件費・物件費等の決算額が低くなっている要因として、ゴミ処理業務・消防業務等を一部事務組合で行っていることが挙げられる。一部事務組合の人件費・物件費等に充てる負担金を合計した場合、人口1人当たりの金額は増加することになる。今後はこれらも含めた経費について、抑制していく必要がある。

(人口1人当たり地方債現在高)
近年、大規模事業が少なかったため、現在のところ類似団体平均を下回っているが、今後において学校施設の耐震改修事業等を予定しており、その結果に応じ、改修工事等の実施が見込まれる。このことから、従来どおり、地方債の発行の抑制等を行い、類似団体平均を上回ることがないように努める。

(実質公債費比率)
過去からの起債抑制策により類似団体平均を下回っているが、今後、控えている学校施設の耐震改修事業等の大規模工事もあることから、その他の新規発行の抑制等に努め、実質公債費比率の急激な上昇を抑える。

(人口1,000人当たり職員数)
過去からの新規採用抑制策により類似団体平均を下回っている。今後においても、集中改革プランに掲げている目標数値(H17.4.1～H22.4.1までの5年間で5.2%減)を下回ることがないように努める。